



SPACECLAIM CORPORATION

～ユーザーストーリー～

K2 Medical Systems社が胎児モニター医療装置の3次元設計にSpaceClaimを適用

■ 導入企業について

K2 Medical Systems(以下K2MS)社は、1989年に設立、イギリスに拠点を持つ出産に必要な医療機器の製造企業です。

■ K2MS社の課題

K2MS社は、次のような目標を掲げ、3次元データ管理やより効率的な設計を達成したいと考えていました。

- ・異なる設計ルールを持つ複数の設計チームによる協調設計を改善したい
- ・既存のCADシステムではネイティブデータのインポート/エクスポートができず、無駄な重複が発生しているのを改善したい
- ・製品のコンセプト設計から製造や製造データ保守にまで3Dツール群を効率的に活用したい

■ SpaceClaim導入の背景

K2MS社では従来より製品のコンセプト設計の管理を手作業で行っていました。また、コンセプト設計はプロジェクトマネージャとPro/Engineerを使用する詳細設計者との協業により進められていましたが、実際の作業はプロジェクトマネージャからの手書きのスケッチと口頭による指示で行っていたため、3次元モデルの品質や精度、及びスピードを欠いていました。

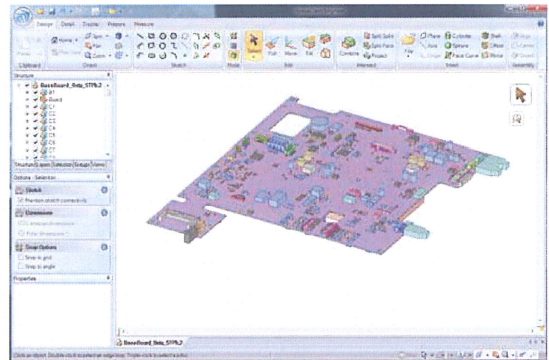
■ SpaceClaim導入の成果

SpaceClaimの導入により製品設計プロセスを改善し、コンセプト設計から詳細設計までにかかる時間を大幅に短縮できました。その結果、新しいアイデアを創出する時間が生まれ、詳細設計者との協業にも時間を割けるようになりました。

また、SpaceClaimによるECADデータのインポート機能は非常に重要であり、電気系のエンジニアチームから送られる回路基盤が筐体にかみ合うか容易に確認できるなど、大いに貢献しました。

更に、SpaceClaimで詳細に3次元モデル化されたおかげで設計者が改めて2次元データから設計意図を解釈する必要もありません。

現在、SpaceClaimで開発されるK2MS社の製品は空間上の厳しい制約があります。それでもSpaceClaimによって内部のコンポーネントが正確にモデル化されているため自信を持って設計を進められるのです。



SpaceClaimに読み込まれた電気CADのモデル
これを取り囲む筐体部分(機械系)と合わせた
コンセプト設計に効果を発揮

“他社製品も検討しましたが、システムが複雑過ぎるため、習得にかかる時間を考えると採用できませんでした。SpaceClaimでは他社の評価した製品と比べて比較にならないスピードで3次元モデルを作成・編集できました。SpaceClaimは特に機械設計が専門ではないエンジニアには特に適している製品です。”

～K2MS社 Angela Delbridge氏～

※ 製品開発元: SpaceClaim Corporation

CYBERNET

サイバネットシステム株式会社

アドバンスドソリューション統括部 新事業推進室 PLMグループ

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル

Tel:(03)5297-3247 Fax(03)5297-3637

<http://www.cybernet.co.jp/spaceclaim/>

e-mail:scsales@cybernet.co.jp

お問い合わせ先:

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-1-10
TUGビル8F

株式会社 CAEソリューションズ

TEL.03-3514-1506 FAX.03-3514-1507

<http://www.cae-sc.com>